

藤樹人間学塾： 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせで皆で議論しながら思考を深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

■五月、第三百三十七回人間学塾を開きました。参加者は四名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第五巻

慈残報の第二話〜第四話

●今日のポイント

・継子とわが子は本来一体であるという道理をわきまえないければならない。

・命の躍動に気づいていくと、自然界すべてが宇宙全体の命の現れであることが感じとれるようになる。その自覚から無限の縁によって支えられ生かされているかという感謝の思いへ結びついていく。

●フリートークキング

・「自然界と人間は一体であり、朝ドラ『らんまん』でも雑草という草はないと言っている。植

物が地球を助けている」

■六月、第三百三十八回人間学塾を開きました。参加者は七名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第五巻

慈残報の第五話〜第七話

●今日のポイント

・慈善は百福の源、残悪は禍の根源である。万物一体の仁をわきまえる。

・苦悩に支配されるのではなく目の前に目を向けると、私たちの周りには小さな喜びが溢れている。私たち人間は深いところにある愛で皆つながっている。

●フリートークキング

・「実子と継子の問題については、感情を理性でいかにコントロールするかだと思う」

■七月、第三百三十九回人間学塾を開きました。参加者は十名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第五巻

慈残報の第八話〜第十話

●今日のポイント

・継子と実子は一体なので、両者を区別することなく愛することが自身に幸福をもたらす。

・「戦争なぜ殺し合うのか」……ヒトは、脳内にオキシトシンと呼ばれる物質を持っており、子



供や隣人を愛したりする絆ホルモンである。しかし線引きをしてその線内にあるものを大事にし、その線外にあるものを攻撃する。これが実子と継子、特定の集団と他集団、人種、民族、国等の区別をして他を攻撃することにつながっている。

・戦争をなくす策は、オキシトシンの線引きの輪を拡大することである。そのために、中江藤樹の「孝の思想」が役立つ。

●フリートークキング

・「戦争をなくすには、まず家族が仲良くすることから始まる。人の悪口を言わないことも大事」

■八月、第四百十回藤樹人間学塾を開きました。参加者は八名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第五巻

仁虐報の序と第一話〜第二話

●今日のポイント

・身分の高い人も低い人も同じ人間だから一体であるという道理を自覚して行動すれば、幸福が訪れる。

・鉄からおこった錆が、それから起こったのに鉄自身を損なうように、悪をなしたならば、自分の業が罪を犯した人を悪いところ（地獄）にみちびく。

●フリートークキング

・「戦前の教科書には中江藤樹が載っていたと聞いており尊敬すべき人だと思っていた。結婚して高島へ来て、藤樹先生の勉強をしているのはご縁だと思っ」等の意見をいただきました。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

十月七日（土）、十一月四日（土）、

十二月二日（土）、一月六日（土）

■時間（原則）十五時〜十七時

■場所（原則）安曇川公民館